

} | Ó á ' u
KAWASAKI STEEL GIHO

using these technologies, Kawasaki Steel has been positively promoting activities such as waste recycling among various industries. It is expected that the environmental protection technologies in Kawasaki Steel can play an important role in the construction of sustainable society in the future.

, -1 (0Tm) 2 (0) 2 (0) 2 (30.24 0 0 0.24 319.0515 718123cm0280058Tc 43 0Tm 7T1 1 Tf) TjET @ 0.24

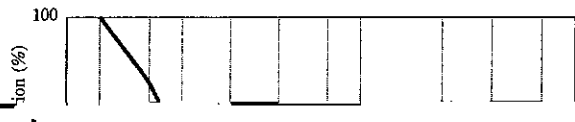
Recent Technological Trend of Global Environmental Protection

in Kawasaki Steel



要旨

川崎製鉄の地球環境保全における最近の技術動向を概括した。地球温暖化防止のための省エネルギー技術分野では、蓄熱式熱交換システムを応用した高効率加熱装置に代表される設備の高効率化や千葉製鉄所第3ホットストリップミルでのエンドレス圧延などの製造

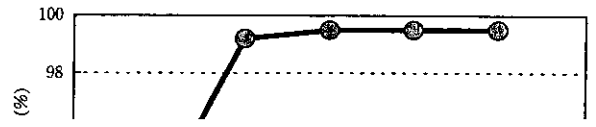


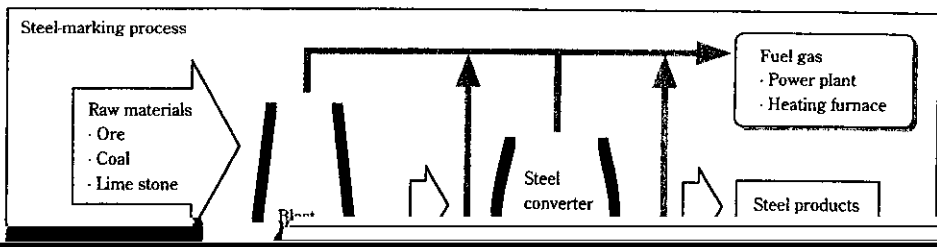
備 (CDQ)、焼結クーラー排熱回収設備、高炉炉頂圧発電設備、転炉ガス顕熱回収設備、排熱ボイラーなどがある。

排熱回収における今後の課題は、比較的低温の排熱を主とする未

Table 1 Recycling situation of by-products (FY1999)

	Amount (kt/y)	Ratio (%)	Landfill (kt/y)	Recycling ratio (%)
	5,000	99.4	300	100.0





パイロメタラジーを利用したりサイクル技術を中心に概括した。

川崎製鉄が進めている最近の環境保全技術の動向について、省エネルギー技術、環境負荷低減技術、製鉄所副産物資源化技術および

などの活動も含めて、今後も率先して地球環境保全に向けた技術開発を行い、持続的発展が可能な社会の実現に貢献していく。

参 考 文 献

- 1) 森山品夫、藤川徳次郎、吉村博安：川崎製鉄技報、17(1985)2
- 11) 松原隆、藤原直二：CAMPSI、6(1992)1、200
- 12) 笠岡玄樹、安藤 猛：川崎製鉄技報、29(1997)1、11-15
- 13) 安野元浩、内田哲郎、後藤 勲、田中 均：CAMPSI、6(1992)1、55
- 93-97
- 2) 前澤利春、小宮山滋、南部正悟、峰松隆嗣、安部成雄：川崎製鉄技報、29(1997)1、93-97